

光照山普門寺 下馬落観音堂 資料

松本美虹¹

はじめに

平成28年(2016)9月、茅ヶ崎市芹沢にある光照山普門寺の下馬落観音堂が、老朽化などの理由により解体された。下馬落観音堂は昭和33年(1958)に建築された。講中が集まる場所である一方、公民館としての機能も持ち合わせていた。解体に伴い、観音堂内に保存されていた講の道具などは観音堂近くにある来迎寺に移された。

これらの資料のうち、棟札については前号²で紹介した。本稿では、棟札以外の仏像、講中が使用されていた道具について紹介する。

調査参加者は、文化資料館と活動する会(民俗行事部会)会員、茅ヶ崎市社会教育課職員。調査日時、場所は前号を参照いただきたい。資料写真は文化資料館と活動する会会員の坂井源一氏撮影。「4賞状」「5写真・絵」の写真は割愛した。

1 下馬落観音堂

「下馬落観音堂」の由来は、門前を馬に乗って通る武将が皆、落馬したことから命名されたと言われている。

解体後、同地に下馬落観音堂跡を示す碑が建立された。



【写真1 下馬落観音堂】

2 仏像、厨子

番号	資料名		内容
1	本尊		455×455×1220mm
2	御前立		330×330×1020mm
3	厨子		本尊が納められていた
4	六観音	不空罽索観音 (准胝観音)か	195×225×675mm
		如意輪観音	195×225×645mm
		千手観音	195×225×725mm
		聖観音	185×230×685mm
		馬頭観音	190×223×725mm
		十一面観音	185×225×715mm
5	仏像		40×145×40mm

(1) 本尊

御開帳時のみ、拝観が可能であつたらしい。通常は、本尊が納められている厨子の前に御前立があり、左右に六観音が3体ずつ配置され、これらの仏像を拝観していた(資料写真10参照)。

本尊とお前立を比較した場合、類似しているが台座の形状などが異なる(資料写真1、2参照)。

(2) 御前立

撮影、計測を行う際、本体と台座が分離可能と分かった。お前立の足部に板が取り付けられていた。板の形状に合わせ、台座に溝が空いていた。地震が起きても本体と台座が分離しないよう、工夫されている。



【写真2 お前立の足部】



【写真3 お前立の台座】

(3) 厨子

本尊が納められていた。観音扉となっており、扉の内側の左右には絵が描かれている。



【写真4 本尊、厨子】

(4) 六観音

六道の世界に輪廻する生き物を済し出し、心身を悩ませる心を解放させてくれる観世音菩薩。不空罽索観音(准胝観音)、聖観音(正観音とも書く)、如意輪観音、千手観音、馬頭観音、十一面観音の六観音が挙げられる。また、不空罽索観音、准胝観音³を別にして「七観音」と呼ぶ場合もある。

下馬落観音堂では6体の観音菩薩が配置されており、それぞれ形態が異なる。全体的に袈裟の色合いが類似しているので、同時期に製作された可能性がある。台座の寸法は縦18.5~19.5cm、横22.3~23cm、台座を含めた高さ64.5~72.5cmと、差異は10cm程度である。

3 講中使用道具

番号	資料名	内容
1	鉦	「相州芹沢村光生山普門寺」と彫られている。鉦つきあり。 165×205×70mm
2	ロウソク立て	木がねじれているような形態に細工されている。 220×220×892mm
3	戸帳	天保14年(1843)閏9月。「正観世音菩薩」などと明記されている。「戸帳出来」「天保14卯年閏九月吉日」「筥出来」「嘉永八卯年正月吉祥日」などと明記された箱あり。箱内に明治40年(1907)9月5日付の中央新聞あり。 1180×455×約50mm
4	数珠	念仏時に使用されたか。 約3468×約1500×約100mm
5	数珠	2点。紐が編まれ、数珠に似た形状になっており、玉は不使用。 357×約90×約30mm 約690×120×約40mm
6	箱	数珠2点が納められていた。底に「昭和四十五年十月十日」「講中」「三十三戸」と明記あり。ふた外側に「下馬落観世音菩薩」と明記あり。 本体…388×97×87mm ふた…94×80×9mm
7	鰐口	「覚」などと明記あり

番号	資料名	内容
8	花立て	2点。造花、台あり。 110×110×248mm
9	獅子頭	後ろに突起があるため、何かに 取り付けてあった可能性あり。 約15×約15×約15mm
10	横断幕	平成11年(1999)10月。家紋、「奉 納」「芹沢西主婦之会」などと明 記あり
11	香炉・ 線香 立て	「昭和33年改築記念」などと明 記あり。約150×214×132mm
12	経台	上に線香、小さなロウソク立て が配置されていた。 280×620×340mm
13	拍子木	寄贈者名、「保警用」と明記あり。 255×49×37mm
14	掛軸	2点。「願以此功德平等施一切 同」などと明記あり
15	火鉢	鉄製。月、人、舟、建物などが彫 られている。430×430×280mm
16	火鉢	木製。側面に寄贈者名、底に「昭 和三年 入沸式 ^(ママ) 紀 念」と明記あ り。280×280×295mm
17	賽銭箱	平成2年(1990)10月。寄贈者名 などの明記あり。 320×600×315mm
18	賽銭箱	343×605×310mm
19	札	印の他、「奉開扉下馬落観世音菩 薩宝牘」「高座郡小出村芹沢」「光 照山普門寺霊佛」と明記あり
20	レリー フ	昭和54年(1979)11月18日。 茅ヶ崎市教育委員会より芹西子 ども会へ。国際児童年記念
21	米価の うごき	明治17年～平成15年までの政 府買い入れ米価の表。平成16年 農事暦より

年代が明記されている火鉢、横断幕などは使用年代を特定でき、講中の歴史を物語っている。番号20は国際児童年に関連しており、当時の国際的な動向が分かる。

4 賞状

番号	資料名	内容
1	優秀賞	昭和18年(1943)3月10日。高座 郡農会長より芹沢西部農事実行 組合へ。堆 ^{たいきゅう} 肥増産について
2	賞状	昭和33年(1958)1月30日。藤沢 地区麦酒麦耕作組合連合会会長 より芹沢西部生産組合へ。第一 回ビール麦生産共進会にて二等
3	表彰状	昭和37年(1962)3月20日。神奈 川県相模川左岸土地改良区理事 長より芹沢組合費納付組合へ。 土地改良区組合費の納期内完納 について
4	賞状	昭和40年(1965)3月24日。茅ヶ 崎市長より芹沢西部農業生産組 合へ。昭和39年度産米予約売渡 に際し、期限内完遂偉業を達成
5	賞状	昭和40年(1965)3月24日。茅ヶ 崎市長より芹西農協婦人部へ。 昭和39年度秋の食品加工コンク ールにて
6	感謝状	昭和41年(1966)10月15日。 茅ヶ崎市長より芹沢西部自治 会・農業生産組合へ。台風4号の 被害防止、災害復旧について
7	表彰状	昭和42年(1967)5月19日。茅ヶ 崎市長より芹沢西部納税貯蓄組 合連合会会長より芹沢西部納税 貯蓄組合へ。運営について

番号	資料名	内容
8	感謝状	昭和 43 年(1968)9 月 30 日。神奈川県知事より芹沢西部道路愛護会へ。昭和 42 年度道路維持保全作業について
9	感謝状	昭和 49 年(1974)8 月 31 日。神奈川県知事より芹沢西部自治会へ。昭和 48 年度道路維持保全作業について
10	表彰状	昭和 51 年(1976)8 月 18 日。神奈川県知事より芹西子ども会。活動の継続について
11	表彰状	昭和 54 年(1979)5 月 24 日。茅ヶ崎市納税貯蓄組合連合会会長より芹沢西部納税貯蓄組合へ。適切な運営について
12	表彰状	昭和 55 年(1980)4 月 23 日。茅ヶ崎市農業協同組合長理事より芹沢西部支部へ。昭和 54 年度組合の事業推進について
13	感謝状	昭和 60 年(1985)3 月 19 日。神奈川県相模川左岸土地改良区理事長より芹沢組合費納付組合へ。土地改良区組合費の完納について
14	賞状	平成 2 年(1990)10 月 28 日。文教大学体育会会長より二本松芹西合同チームへ。第一回ゲートボール大会で 3 位受賞
15	表彰状	平成 6 年(1994)4 月 15 日。茅ヶ崎市農業協同組合代表理事組合長より芹沢西部支部へ。組合の事業推進について

昭和 10 年(1935) から平成 6 年(1994) までの賞状が額に入れられ、飾られていた。賞状を読むと、芹沢西部地域で活動されていた芹沢西部農事実行組合などの団体を把握できる。

5 写真・絵

番号	資料名	内容
1	通水式	通水式での集合写真(白黒)
2	集合写真	平成 2 年(1990)10 月 10 日建立の柱と共に撮影(白黒)
3	中開帳	18 点。平成 18 年(2006)10 月 10 日、中開帳にて撮影(2 点、カラー)
4	下馬落観音堂	平成 23 年(2011)10 月 10 月奉納された絵

番号 1 は、水道管が通った当時の写真だと考えられる。

おわりに

下馬落観音堂は解体されたが、道具が移された来迎寺にて、観音講中は定期的に集まりを持っている。集まる場所は変わったが、講中の活動内容は継続されている。今回の解体は一つの変化であり、全国的にも同様の事象は増加する可能性がある。

謝辞

本尊を含め、貴重な資料を調べさせていただいた観音講中の皆様には、大変お世話になりました。この場をお借りして、お礼を申し上げます。

参考文献

- ・光照山普門寺 1990『下馬落観音堂』
- ・2008『広辞苑』第六版 岩波書店

¹ 茅ヶ崎市文化資料館 学芸員

² 『文化資料館調査研究報告』26

³ 天台宗密教では不空罽索観音。真言密教では准胝観音。

下馬落観音堂 資料写真

(1) 仏像、厨子



【1 本尊】



【2 お前立】



【3 厨子】



【4 不空絹索観音
(准胝観音) か】



【5 如意輪観音】



【6 千手観音】



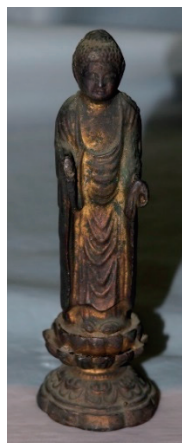
【7 聖観音】



【8 馬頭観音】



【9 十一面観音】



【10 仏像】



【お前立、厨子、六観音】

下馬落観音堂 資料写真

(2) 講中使用道具



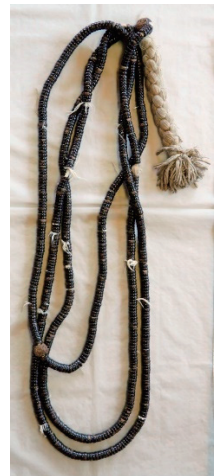
【1 鉢】



【2 ロウソク立て】



【3 戸帳】



【4 数珠】



【5 数珠】

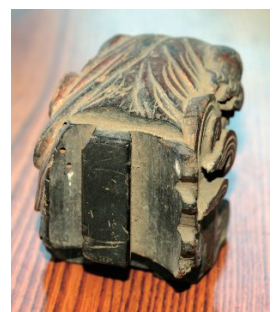
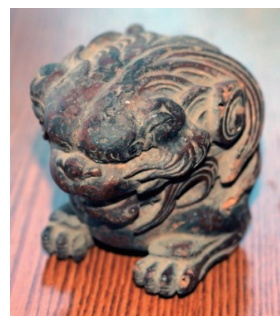
【6 箱】



【7 鰐口】



【8 花立て】



【9 獅子頭】

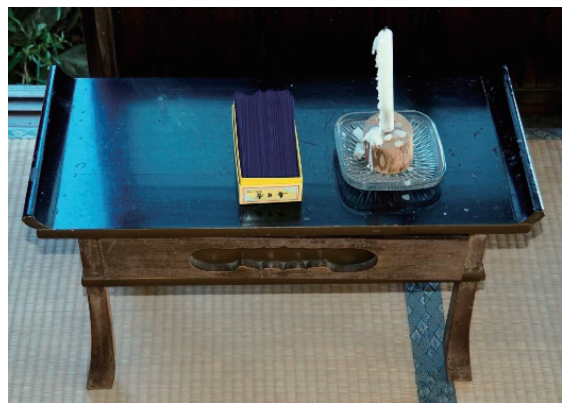
下馬落観音堂 資料写真



【10 横断幕】



【11 香炉・線香立て】



【12 経台】



【13 拍子木】



【14 掛軸】

下馬落観音堂 資料写真



【15 火鉢】



【16 火鉢】



【17 賽銭箱】



【18 賽銭箱】



【19 札】



【20 レリーフ】